



## アメリカにはどんな動物がすんでいるの

### 北アメリカと南アメリカでちがう

アメリカは、北アメリカ大陸と、南アメリカ大陸に分かれていて、すんでいる動物は、北と南で大きくちがいます。ここでは、北アメリカ大陸にすむ、おもな動物を紹介しましょう。

### 北アメリカ大陸の動物

北極に近い地方には、ホッキョクグマ、トナカイ（カリブー）、ヒグマ、オオカミなどがいます。カナダの森林には、木を切り倒してダムを作るビーバーがいます。

カナダとアメリカの国境あたりから南にかけて、森林や草原のアメリカバイソンが有名です。日本の動物園でも人気のあるプレイリードッグも、この草原にすんでいます。

フロリダ半島には、ネコ科のアメリカライオン（ピューマ）がいます。水辺には、ミシシッピーワニや、人魚のモデルになっているマナティなどがいます。

メキシコにいくと、サボテンの生えた砂ばく地帯には、ネコ科のボブキャットやガラガラヘビがいます。

海にすむ動物では、ホッキョククジラ、アザラシ、アシカ、ラッコ、セミクジラ、シャチなどがいます。

ガンやカモの仲間、ワシ、フクロウなど大型の鳥もたくさんいます。アメリカハクトウワシは、アメリカの国鳥になっています。

### 中南米にいる動物

中南米の山岳地帯には、ラクダに似たラマがいます。鳥では、世界一小さい鳥のハチドリがいます。（監修・今泉 忠明）

